



2018～2019 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

湘南・沖縄部 部報

国際会長主題 「私たちは変えられる」
 アジア会長主題 「Action！」
 東日本区理事主題 「為せば成る」
 湘南・沖縄部長主題 「心を元気に絆を深めあえるワイズをめざそう！」



2019年7月
 (第2号)

活動報告 この一年に感謝

湘南・沖縄部 部長 佐藤 節子(厚木)



みなさまに、背中を押していただきながら「心を元気に絆を深めあえるワイズをめざそう！」の部長主題を基に活動できましたことただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

また、部あげての新クラブ誕生で、絆が深まりあえた一年でもあります。過ぎてみれば早いもので、平成の締めくくりと令和のはじめに部長をさせて頂きましたこと先ずもって、お礼申し上げます。これも一重に皆さまのご協力、ご支援の賜物と深く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

・**クラブ部長公式訪問** 8クラブ完了
 横浜とつかクラブ(7月7日)を皮切りに2019年2月16日～17日に沖縄那覇クラブ・沖縄クラブの合同例会をもって8クラブすべて、訪問させていただきました。地域の特殊性、実情等を訪問により、理解が深まりました。宮内理事の沖縄同行は感謝に堪えません。

・**部大会** 9月15日 会場 レンブラントホテル厚木

第1部 開会式典 第2部 理学博士佐治晴夫氏を迎えての講演

テーマ ～宇宙研究最前線から人間存在の意味を考える～「宇宙に学ぶ人生の歩き方」の講演でした。

改めて人間の存在の意味を考える「生きる」ことに感銘を受けました。

第3部 懇親会 お料理に舌鼓を打ちながら懇親を深め合いました。

・**第一回フレッシュセミナー** 11月11日 会場 横浜YMCA

テーマ「ワイズを知るには 今でしょ」 講師：湘南・沖縄部ワイズ加藤利榮氏、鈴木茂氏、辻剛氏

内容「ワイズってなに」「ワイズの歴史」「東日本区文献 規約・部規約」「健康づくりゲーム」など。

いまさら聴けない基本を解り易くコンパクトな内容に「ふ～ん、そうだったのか！」楽しく学びました。

・**横浜 YMCA と合同新年会** 2019年1月12日 会場 横浜中華街廣東飯店

来賓神崎清一日本 YMCA 同盟総主事、田中博之アジア・太平洋地域会長、宮内友弥東日本区理事他

区役員キャビネット大勢様にご臨席していただきました。お陰様にて盛会でありました。

・**新クラブ「横浜つるみクラブ」誕生!** 会場 鶴見中央地域ケアプラザ

辻剛部エクステンション委員長、久保勝昭実行委員長を筆頭に関係のご尽力で9年ぶりの新クラブです。

特色は部がスポンサーになり、全8クラブ総力の結集です。

国際議会より、「スポンサー」部“として「あなたの赤ちゃん」をしっかりと守り育ててのメッセージと

「コウノトリ」バッチが贈られました。世界に広がるワイズメンズ運動に仲間入りしました。

設立総会 2019年3月17日。チャーターナイト認証式 2019年6月16日 会員9名

・**YMCA と協働**

・**AIDS フォーラム** 8月3日～5日 会場かながわ県民センター テーマ「リアルとつながる」

・**チャリティラン** 10月20日 会場横浜みらい21 地区開港パーク

・**横浜 YMCA 会員大会** 2019年2月11日 会場とつかYMCA テーマ「平和のつくり方」

・**横浜専門学校日本語スピーチコンテスト支援**

・**東日本大震災など災害に支援**

・**横浜 YMCA 会員総会** 2019年5月25日 会場とつかYMCA

・その他

部長通信 N01～N03 発行 ・部報 第1号発行
(11月) 第2号発行 (6月末日)

部評議会、Y-Ys 協議会等々、計画通り実施。エクステンション委員会委員長を役員に承認される。

結びに

皆様のますますのご発展を心よりお祈り申し上げますとともに、引き続き、楽しいクラブの活性化、無理のない活動、推進に心がけ、タスキをつなげたいと思います。ありがとうございました。

いつも、横浜 YMCA を、お支えいただき感謝申し上げます。

横浜 YMCA 総主事 田口 努



国際ワイズメンズクラブ湘南・沖縄部、2018年—2019年度の佐藤節子部長の年度は、新たなワイズメンズクラブ誕生という歴史に残る年度になったと思います。

湘南・沖縄部エクステンション委員会として、

各ワイズメンズクラブからのメンバーが委員となり緻密な準備とサポートにより誕生した横浜つるみワイズメンズクラブは、横浜 YMCA にとっても大きな喜びでした。創立 135 周年となる横浜 YMCA の最も古い活動拠点である横浜中央 YMCA の前には、かつて市電が走っており、鶴見区生麦までつながっていたところから、鶴見区に昔から住む方には、市役所前の YMCA の認知度は極めて高かったようで、鶴見区内から横浜中央 YMCA に通われる方も大変多かった地域です。しかし、鶴見区内に YMCA の活動拠点が、できたのは比較的新しく、15 年前の 120 周年時にできた YMCA つるみ保育園、その 2 年後の鶴見中央 YMCA ・鶴見中央地域ケアプラザ、その後、生麦地域ケアプラザ、YMCA ライフサポートセンター、本年 2019 年に、生麦小学校放課後キッズクラブ、聖ヨゼフ小学校内アフタースクールなどを受託するなど 6 つの活動拠点に広がる横浜 YMCA にとって、湘南、沖縄部の全面支援の下、YMCA の会員運動とも連動する新しいワイズメンズクラブが誕生し、奉仕活動が展開されることは、心からうれしく、深く感謝申し上げる次第です。高齢の方のつながりを深めるうたごえ広場の活動の他、子どもの貧困の課題に向き合う、生活保護世帯の学習支援や子ども食堂などを鶴見区内の YMCA で行っていますので、ご一緒に活動

できればと願っています。

チャリティーラン、エイズ文化フォーラム、国際・地域協力募金、子ども支援基金などに部を上げて今年も取り組んでくださりありがとうございます。また、各クラブでサポートする YMCA におけるバザーへの協力、幼児少年サッカー大会などでのワイズカップ、日本語学科留学生のスピーチコンテストや日本文化紹介などのご支援など数えきれない多彩な YMCA への奉仕活動が展開されましたことに、この場を借りて感謝申し上げます。

佐藤節子部長をはじめ前年度の役員、各ワイズメンの皆様、一年間のご奉仕お疲れさまでした。

新年度も国際ワイズメンズクラブ湘南・沖縄部が、良き YMCA のパートナーとして共に発展できますよう祈念いたします。

「部報第2号発刊に寄せて」

東日本区理事
宮内 友弥
(東京武蔵野多摩)



湘南・沖縄部 2018-2019 年度部報第2号が発刊の運びとなったことを心よりお慶び申し上げます。この1年間佐藤部長を始めキャビネットの皆さま、事業主査の皆さま、クラブ会長並びにメンバーの皆さまのお働き、ご奉仕誠に有難うございました。

本年度、貴部横浜つるみ新クラブの設立総会／チャーターナイト、沖縄訪問等に参加させていただきましたが、「心を元気に絆を深めあえるワイズをめざそう！」を掲げられた佐藤部長の元、湘南・沖縄部躍進の基礎を固められた1年であったと感じています。特に6月16日にチャーターの横浜つるみクラブは、スポンサーが従来のようにクラブになるのではなく湘南・沖縄部そのものであります。部エクステンション委員会をいち早く立ち上げ周到な計画の元に、部を挙げての設立への力の結集が実を結んだものであり、新クラブ作りの新たなスタイルを示されました。やればできるのだということを実現し区全体を勇気付けられたことに深く敬意を表します。

ご存知のように東日本区は会員数の減少、財政の逼迫等厳しい状況下であり、特に会員数の減少に対する対策取組は、東日本区にとって喫緊の最重要課題です。

湘南・沖縄部におかれましても、引き続き部をあ

げて会員増強に注力いただきますようお願いいたします。
最後になりましたが、本年度、理事としての役割を全うできたのは、皆様のお支えがあってこそです。改めて心より感謝申し上げます。
次年度からは、トロイカの一員として山田理事を支え、今までの慣例とかやり方に捉われず「勇気ある変革」を目指して全力でサポートしてまいります。
皆様、一致協力して東日本区を盛り上げましょう。

巻き込むような情報発信を 地域奉仕・YMCA サービス事業主任 大久保知宏（宇都宮）

2018-19 年度の地域奉仕・YMCA サービス事業では、各部事業主査による情報収集や、クラブが発行するブリテンによって、それぞれの活動を計画段階で CSY ニュースとして告知することを心がけてきました。東日本区全体では 50 件のニュースを配信しました。数多くのクラブが計画の早い段階に情報発信することで、クラブの枠を超えて、多くの方を巻き込むことができるのではないかと考えます。
横浜つるみワイズメンズクラブの設立を湘南・沖縄部が部としてサポートしたことは、EMC を進めるうえで素晴らしい事例です。新クラブ設立は大変負担が多い活動です。これを部で行うことで負担が分散され実行力が高まったのではないのでしょうか？このことは、地域奉仕・YMCA サービスにも通じることだと思います。一つのクラブで実現を目指すことも大切ですが、他のクラブを巻き込みながら負担を分散して事業の実現を目指すべきだと考えます。
一年間、ご支援ありがとうございました。



新クラブチャーターに感謝

東日本区会員増強事業主任
伊丹一之（東京むかで）

今期、東日本区では、2018 年 11 月に行われた第 2 回役員会において「2022 年をゴールとする中期会員増強運動を展開すること」が承認されました。

これは、ワイズ 100 周年となる 2022 年の 12 月までに、東日本区の人数を東日本区発足時の 1246 名に増強するというものです。先日の第 22 回東日本区大会で、この運動の名称が「Change !

2022」に決まりました。
この中には「新クラブは 5 人以上で設立」、「SNS（フェイスブックなど）を使った情報発信」が目玉になっていきます。そして、クラブ作りの一例として「同好の志による新クラブ作り」が提唱されております。



湘南・沖縄部では、今期、「横浜つるみワイズメンズクラブ」をチャーターしていただきましたが、まさにこの運動「Change ! 2022」のモデルケースになるものと、感謝をしております。

来期は、沖縄クラブから部長を輩出されますので、沖縄へのエクステンションを。その次の 2 年は、今度は東海道を西進して、藤沢、平塚、小田原方面へのエクステンションを期待しております。

「この一年皆様のご協力に感謝申し上げます」

国際・交流事業主任 小原史奈子
（東京たんぽぽ）

私が今期担当させて頂きました国際・交流事業といえばまず最初に、BF、EF、TOF、IBC、DBC、RBM、YES など、ワイズ独特の用語が浮かびます。強調月間に合わせ用語の説明を行ってききましたので、少しは関心を持って頂けたかな。と期待しています。



そして、湘南・沖縄部の皆様には各種献金にご協力を頂きありがとうございました。私の今期の目標のひとつは、献金ゼロクラブを減らして何かしらのご協力を頂けないかお願いする事でした。現金での協力が難しいようでしたら、使用済み切手を集める事から始めてはいかがでしょうか。切手整理が得意なクラブとの連携もおすすめします。7 月は RBM の強調月間です。「日本には関係ない」と言わずに、マラリアとは何かを学ぶ事から蚊の媒介する感染症に関心を持って頂き、マラリア撲滅のための支援にご協力をお願いします。

IBC・DBC に関しては 7 月に行われる第 28 階アジア太平洋地域大会にご参加頂き、旧友との交流を深めて頂くと共に、新たな出会いが得られることを願っています

ボーっと生きてんじゃねえよ！

ユース事業主任
山本剛史郎（川越）



2018-2019年度のワイズ活動は東日本区ユース事業主任、関東東部書記に加え、第28回アジア太平洋地域大会実行委員会事務局長と複数の顔を持つドタバタの1年間になってしまいました。その意味ではどの仕事も中途半端になってしまって、皆様にご迷惑をお掛けしたこととお詫び申し上げます。

さて、ユース事業主任としてこの1年間はいろいろと勉強させてもらいました。ユースボランティア・リーダーズフォーラム（YVLF）、ユース海外短期交流プログラム（STEP）、オープン・フォーラム・Y（OFY）、そして2019年7月に行われるエリア・ユース・コンボケーション（AYC）の募集などを行ってきました。その中で素晴らしいユースとの出会いもあり、その姿を自分自身と重ねてみて、反省させられることも多々ありました。普段、仕事に追われ、何となく生きている私にとってユース活動に参加し、そこから刺激を受けることは、NHKの人気番組『チョコちゃんに叱られる』のお決まりの言葉ではありませんが、「ボーっと生きてんじゃねえよ！」と叱られ、改めて自分の生き方を考えさせられたような気がします。これからもチョコちゃんに叱られないように、刺激を受けていきたいと思えます。

委員さんと共に

ワイズメネット委員長
井上 優子（もりおかクラブ）



自己の非力さに落ち込むこともなく、終えることができたのも懐深いメンバーのおかげです。みなさんの笑顔のみが脳裏に浮かびます。笑顔の少ない私を鼓舞して下さったのでしょうか？

つどい、アワー、絵本発送と計画はすべて順調に実行されました。また、アジア太平洋地域大会での平和七夕用折鶴制作に東日本区多くのメネット会、クラブより協力をいただきました。

一番の喜びは、委員の皆様が引き継いで、澁谷委員長と共に働くことになったことです。

「絆を深め、共に前進、感謝を忘れず！」2019年6月1日



於：国立オリンピック記念青少年総合センター、センター棟502号教室

「お礼とお願い」

会計 伊藤 誠彦（横浜）

皆様のご協力を得て1年間、なんとか会計の大任を果たすことができました。有難く厚くお礼を申し上げます。



部の会計は、取引の対象者がクラブ会計、及び、東日本区に限定されるため、比較的負担が軽いことは確かです。しかし、実際にはクラブ会計、部会計、東日本区の関係と役割が十分には理解されていないことから、誤振込、過剰・過小振込、また、期日が守られないことから立替金が発生する等々の不都合が発生したことも事実です。

間違いが発生すると、本来簡単なものの複雑性が一気に増し、手数がかかります。

新年度部会計の伊藤康一さんは部書記も兼務されます。新部会計に過剰な負担がかからないよう、クラブ会計を担当される皆様には、是非、ロースターの「クラブ運営に関する事務手続きのポイント」に目を通され、理解されるようお願いいたします。

サービス事業主査退任にあたり

地域奉仕・YMCA サービス事業主査

山田一男（金沢八景）



ES 主査として任期の終わりにあたり雑感を書いてみたいと思います。

ワイズメンズクラブは一般には知名度が低いことが問題です。YMCA に貢献するためにはワイズ自身が知名度を上げ会員を増やさなければなりません。今度新しいクラブが鶴見に発足しまし

たが、新しいクラブ作りと各クラブの地域における認知度を上げる必要があると思っています。

我が八景ワイズも同様ですが、八景ワイズとしては金沢区ミニバスケット大会をしたりして(小学生ま

で)(大会には多くの父兄が応援に参加する)また金沢区の芸能祭りを八景ワイズが主催して少しでも知名度を上げるべく努力をしているところです。

今後は主査を離れますが一歩一歩頑張っていこうと思っています>

『ワイズダムの実現に向けて』

会員増強事業主査
古賀健一郎(横浜)



湘南・沖縄部そのものがスポンサーとなって取り組んできた『横浜つるみクラブの誕生』

は、部全員の大きな喜びとなり、今後の湘南・沖縄部の新たな発展の一歩となると確信する。

会員相互の交流による心の豊かさ、社会に奉仕するエネルギーを創造するワイズには、長い歴史の中で諸先輩が築かれた大きな伝統の力がありそれが魅力である。『会員増強事業主査』の任を終えるにあたって、私のワイズへの疑問を忌憚なく述べたい。約90年経った今においてもなお、研修会や東日本区のアンケート調査などにおいて、『クリスチャニティ』がどうだとか？キリスト教の儀式がどうだとか？議論し続けていることは大変残念である。他の宗教色のない巨大組織の奉仕団体の二番煎じに甘んじたのか？『クリスチャニティ』を大切にしているYMCAとの連携関係にも矛盾がある。こんな状況は、対外的な会員増強運動や今後のワイズの発展に悪影響を及ぼす。『クリスチャニティ』を押しつけと捉えず、米国のYMCAの中に出来たワイズの伝統の精神の肯定的な理解として受け入れることを望む。そのことは当然キリスト教以外の人を排除することではなく、願いや目的に賛同する人を増やすことに結びつくものでなければならない。隣人愛や奉仕の精神といったことは、他の諸宗教においても共通のものである。『キリスト教の儀式をなくして宗教色を薄めていく』ような狭量な考えを捨て、寛容な心をもって、宗派を超えて互いに尊重し、協力し合って、失われつつある『祈る心』を伝え育み、一致した大きな力と、共に働くことで、『ワイズダムの実現』につなげることを願う。

「2018年～19年度を振り返って」国際・交流主査 今城宏子(横浜つづき)



まず、国際・交流事業の各種献金にご協力頂きました各クラブの皆様から御礼申し上げます。使用済み切手収集では特にご苦勞をおかけしました。残念ながら献金「0」のクラブがありますので、

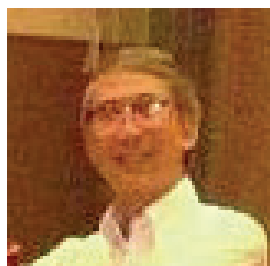
新年度には額にこだわらず気持ちを寄せて頂ければ嬉しく存じます。RBMにつきましても、引き続き学びの輪を広げて献金の意味を高めていきますようお願いしております。なおEF基金として宮内理事に国際・交流事業委員一同より献金をお献げいたしました。

きめ細かに活動をリードして下さった小原史奈子国際・交流主任に心から感謝申し上げますと共に十分にご奉仕できなかったことをお詫びいたします。

佐藤節子湘南・沖縄部部長はじめ役員の皆様、一年間お世話になり、ありがとうございました。これからも引き続きご活躍なさいますようお願い申し上げます。

ユース事業に思う

ユース事業主査
若木一美(横浜とつか)



ユース事業を担当しましたが成果なく1年が終わってしまいました国を始め行政機関は青年施設ではなく子供へ力がそそがれる中目指すユース事業は何か手を寄せながら出会う機会が必要で

エクステンション委員会報告

エクステンション委員会
委員長 辻 剛(横浜つづき)



湘南・沖縄部に9年ぶりに、9番目のクラブ、横浜つるみワイズメンズクラブが9人のメンバーで6月16日に誕生しました。東日本区では令和“初”の記念すべきことすし、9人でのスタートも東日本区史上“初”の最少人数です。さらに部がスポンサーになったこともおそらく世

界“初”だと思えます。初物尽くしのクラブですが、誕生できたのは湘南・沖縄部挙げてのご支援・ご協力の賜物と考えています。部および各クラブの皆様より感謝申し上げます。東日本区大会では湘南・沖縄部とエクステンション委員会に対して EMC 特別表彰をいただきましたが、これは皆様全員に与えられたものです。しかし、つるみクラブはまだ“baby”です。部としては今後も大きく育つまで支えていかねばなりません。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

エクステンション委員会の活動はこれからも続きます。折りしも東日本区は<Change! 2022>プロジェクトを7月からスタートさせ、会員増強に取り組みます。私たちが部および各クラブの達成目標を作成し、その達成に向かって次年度も10番目、11番目のクラブ設立を目指して頑張らしましょう！（完）

ワイズと共に

湘南・沖縄部 担当主事
青木 一弘(横浜)



今年度は、今までのワイズ担当主事としての活動の中で、これほど充実と緊張の日々を経験したことはありませんでした。横浜・鶴見地区における新クラブ(つるみワイズメンズクラブ)の誕生に立ち会える

喜びを与えていただき、本当にたくさんの方々のお支えのおかげで1年間過ごして来れました。ワイズメンの友情に感謝致します。

何が何でもメンバー増強とスタートした湘南・沖縄部 EMC 委員会でありましたが、最初は、なかなか新クラブ設立までとはいかない、難しいものでありました。しかし、今後は、流れが変わりそうな気がします。これからもメンバー増強の気持ちを切らさず色々な人に一緒に活動することを勧めていこうと思います。また、充実した例会、地道な奉仕活動も EMC に繋がっていることと感じております。ここから、良い流れになっていくそんな予感がします。次年度も、温かいご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

横浜クラブこの1年を振り返って

横浜クラブ 会長
古田和彦

クラブ主題を「YMCA、ワイズメンと共に！」



と掲げて、YMCA理解とその活動への参加、また、他クラブを含めたワイズメンとの協働・交流を目指しました。

例会卓話をYMCA理解を深めるために、YMCAが行っている諸活動を職員の皆さんからお聞きすることに特化して行いました。また、例年同様、留学生による日本語スピーチコンテスト、中央・北YMCA幼児室内サッカー大会、中央YMCAウエルカムフェスタにはクラブを挙げて参加協力し、YMCAを支える実感を持つことができました。

ワイズメンとの協働・交流については、今年度つるみクラブの一泊富士山例会に参加できたことに加え、DBCを検討している熊本スピリットクラブを熊本YMCA 90周年に合わせて訪問し、交流の輪を広げることができました。

しかし、会員数が13名と過去15年間で最少を記録し、その例会出席率も前年を下回りました。会員の高齢化、新しい会員を確保できなかったことが最大の課題となっています。

沖縄那覇ワイズの活動と休会のご報告

沖縄那覇クラブ会長
玉城哲人

まず始めに、一年間の活動を報告致します。

去年8月、沖縄YMCAが主催するあめんぼキャンプに活動資金を寄附しました。同時期に行われたちびっこキャンプでは、テント設営や食事の準備等を手伝いました。12月には沖縄YMCAとの共催でクリスマス祝会を開きました。2月の部長公式訪問の際には沖縄クラブと合同例会と歓迎会を開催し、参加していただいた方々と交流を深めました。

さて、大変恐縮ではありますが、沖縄那覇ワイズメンズクラブの休会をご報告させていただきます。休会に至った経緯は、会員を増やすことがままならない中、会員の高齢化や健康上の理由で休会・退会が相次ぎ、例会にてクラブの今後について話し合いを持ちました。結論として、このままクラブとして維持することが困難であると判断し、一旦休会することを決めました。沖縄YMCAへの援助やワイズ基金への献金などは継続する所存です。これまで多大なご支援をいただきお世話になった湘南・沖縄部のワイズの皆様方や全国のワイズの皆様方を思うと、大変申し訳なく心苦しくありますが、ご理解していただきたく存じます。

1 年を振り返って

鎌倉クラブ会長
千葉 裕子



過ぎてしまうと1年は早いもので、また新しい年度が始まろうとしています。鎌倉クラブのこの1年は通常の例会の他に、新しく始めた事が2つ。

メンテナンス体操教室とワイズカップ幼児サッカー大会です。体操教室は毎月1回開いていますが、理学療法士の楽しい先生をお願いして、優しく・楽しく・時にハードに行っています。すごい！と、思うのは、皆さんが来た時と帰る時では足取りが違うのです。身近な材料で工夫して教えて下さるのです。前は、いらなくなった自分のTシャツを輪切りにして、それを使った体操（自分のTシャツだけに、サイズがピッタリ）など工夫が一杯です！サッカー大会は戸塚クラブさんと共催です。以前より戸塚クラブさんとは楽しく、一緒にいろいろな活動をさせて頂きましたが、又1つ増えた、楽しみです。日頃サッカーの試合経験のあまりない幼児さんに試合を楽しんでもらいたいと、鎌倉YMCAの三上さんの発案で2月に実現した大会です。幼児さんと言っても試合は真剣そのもの！かわいく、とても楽しい大会でした。今年もぜひ応援し、続けたい活動です。今年も独自の活動と、他クラブとの活動と、楽しい活動をしていきたいです。

この1年、クラブと私にとり、忘れ得ぬ年となりました。

横浜とつかクラブ会長
浦出昭吉



1) クラブ25年式典の開催

横浜YMCAが110周年事業として、最大規模のランチである湘南とつかYMCAが開設されたのに合わせ、以来今日に至るまで周年式も共に行い、今年はこの5月18日に盛大に開催することができました。それと「クラブ25年年譜」を刊行いたしました。

2) 仲間が2人増えたこと

チャータメンバーの岡進さんが、チャーター後間もなくお仕事の都合で退会されていましたが、この程 私たちの古巣に戻られたことと、YMCA山手台センターの運営委員でも柴原和可さんが、佐藤節子部長のご紹介で、入会いただけたことです。

3) 第22回区大会での受賞

TOF 献金貢献賞第1位と6部門で表彰状を頂きました。

なお、鎌倉クラブと合同で、幼児ワイズサッカー大会・加藤邸での合同納涼例会・吉原邸での‘竹の子例会’なども例年以上に盛り上がりました。

2018年から2019年の振り返り

厚木クラブ会長
小松仲史



湘南・沖縄部佐藤節子部長のもと、一年が過ぎ去りました。

佐藤節子部長を始め、諸先輩方には心より感謝申し上げます。

それぞれに思いがあり、それぞれに感じた長さには差がある事と思います。

諸先輩方の中、勉強不足の私にとっては、日々新しい発見を感じ様々な事を学びました。

素晴らしい一年間を振り返ると、部大会では佐治晴夫先生の素晴らしい講演を頂き、大成功でした、そして心に残るフレッシュセミナーの開催では更に多くの学びがあり佐藤節子部長の熱意が伝わってきました。できれば今後も続けて頂きたいなと思っています。

そして、何よりの新クラブ設立！まるで何年も前からあるような結束の強さとその行動力は驚きでした。ワイズメンズクラブ初の試みで部がスポンサーになる快挙も

大成功で、新しい歴史の一ページになりました。私にとっては、まだワイズダムの勉強が全く足りませんので今後とも多くの諸先輩から沢山の事を学びたいと思っています。

仲間が増えた！

横浜つづきクラブ会長
岡田勝美

ワイズの信条のもとにクラブ活動をしてきま



した。会長主題は「楽しく活動し、仲間を増やしていこう！」でした。何よりも楽しいクラブライフを心掛け、YMCAとの協働活動、クラブ独自のCS活動、移動例会、富士山例会などいろいろありました。例会では卓話者から興味深い話を聞くことが出来ました。事務例会、本例会後の懇親会は大いに盛り上がり有意義でした。横浜つづきクラブは「第8回YOU&Iコンサート」、調理ボラ、TKB(つづき かわいい ばあちゃんズ)による活動があります。東日本被災地支援活動の折り紙誕生カードづくりです。何ととっても、学生のように理想を語り合い交流できる、こんなシニアクラブは珍しいです。うれしいことは今期の終わりに、横浜つるみワイズメンズクラブが誕生したことです。新しい仲間が増えました。

一年を振り返って
 沖縄ワイズメンズクラブ会長
 宮里伸一郎

沖縄クラブにおきましては、東日本区より 2018～2019 度 会員増強事業 EMC-M (新入会員獲得) 優秀賞を頂くことが出来ました。

懇親会も賑やかになり、クラブへ活気をもたらす新入会員の皆様には大変有り難く思います。振り返り 会長として反省の一つであります。従来会員の例会参加者を増やすことが出来なかった点です。

次年度は今年度以上に意識を持って動き、取り組みたいと思います。

2019～2020 度 森田新部長、手登根新会長のもと、さらに新たな会員を迎え

沖縄クラブの発展と会員皆様のご健勝を祈念申し上げます。

湘南・沖縄部の活性化のために
 監事 鈴木 茂 (横浜つづき)



湘南・沖縄部では昨年 11 月 11 日、佐藤部長の発案で「第 1 回フレッシュセミナー」が開催されました。これは比較的新しいワイズメンの方々に「ワイズメンズクラブとは何か」を学んでいただく企画です。参加者は 14 名でした。講師は加藤利榮さん、辻 剛さんと小職が務めました。

さらに当期は、新クラブ設立促進を目的として各部に「エクステンション委員会」が設置されましたが、湘南・沖縄部ではこの委員会が中心となって、部自身をスポンサーとする新クラブ設立準備を進め、さる 6 月 16 日「横浜つるみクラブ」のチャーターナイトを迎えました。

また横浜クラブでは、これまでクラブ単独で開催してきた 8 月の「納涼例会」を今後は部内各クラブにも呼びかけ、部の「合同納涼会」にしようと計画しています。横浜 YMCA との合同新年会の夏季版とも言えるプログラムです。

このように学びや事業プロジェクトに限らず懇親・交流も含めて、部合同の活動とすることは、部内各クラブ・メンバー間の交流・親睦を深め、部の活性化にもつながり、大変良いことだと考えます。

以上



部大会 レンブラントホテル 9 月 15 日



合同新年会 廣東飯店 1 月 12 日

編集後記

部報 2 号を発行させていただきます。部書記としての働きは充分ではなかったと反省しているところがございます。しかし、今までお付き合いのなかった方々と知り合いになれば、部の諸先輩に後押し頂きました。一年間のバックアップに感謝いたします。ありがとうございました。

部書記 厚木クラブ 堀田哲郎